

埼玉県住まいづくり協議会
創立20周年記念

第4回

埼玉県 環境住宅賞 作品集



埼玉県のマスコット(コバトン)



あいたまちゃん

地球温暖化防止など、
環境への負荷が少ない
住まいづくり・住まい方が求められています。
そこで、こうした住まいづくり・
住まい方を進めるため、
工夫やアイデアに富んだ
住宅・住まい方を募集しました。

主催:  埼玉県住まいづくり協議会 後援: 彩の国  埼玉県

第4回埼玉県環境住宅賞 総評

埼玉県環境住宅賞の企画の趣旨から、全ての部門に多くの応募が望まれるが、今回はリフォームの部門と生徒・学生部門の応募が少なかったことは残念であった。しかし応募された新築住宅部門はレベルの高いものが多かった。環境共生住宅の技術の定着化とデザインの質の高いことに感心した。なかでも環境技術とデザインの多くがパッシブデザインであり、落ち着きのある住みやすそうな住宅が多い。

新築部門では屋根や外壁及び外周の窓の断熱性能に関する工夫が目立った。屋根断熱材にグラスウール360mmを充填したり、外壁には300mmを用いた高性能の提案があった。また断熱材にセルロースファイバーや羊毛など素材から環境にこだわる提案もあった。窓を含め、外皮の断熱性能を高めて、室内の上下の温度差を少なくして、吹抜けのある家族が一体感をもって生活できる住まいを実現した好例も少なくない。室内に土間を設け、蓄熱に活用している住宅は生活上の利便と相俟って優れた住宅で、これから多く採用される技術であろう。太陽熱を活用する空気集熱式床下暖房やバイオマス活用の薪やペレットストーブの定集等化石燃料を削減する努力はZEHを目指す住宅づくりとして推進したい技術である。

北緯35度から36度にかかる埼玉県では太陽の光や熱を冬夏を意識して、採り入れと遮断の制御は必須で、その基本は適切な庇の長さである。屋根の庇、窓の小庇などの工夫で省エネと建築の長寿命化さらに生活のしやすさに影響する。

リフォーム部門では耐震改修と外皮の高断熱化によって、室内に吹抜けまで実現した例もあった。

住まい手部門ではお金をかけない省エネで住みやすさを実現する例や近隣との付き合いを深める菜園のある住まいの提案などがあり、環境意識の広がりを実感した。

高校生の提案に日本の気候条件や伝統的な生活文化から考え、工夫した提案があり、探究の姿勢を評価した。将来を期待したい。

第4回埼玉県環境住宅賞の流れ

審査委員会 平成28年4月27日(募集要項の決定)

募集 平成28年7月1日～9月30日

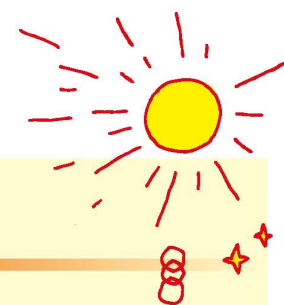
応募作品	92作品
・建築部門	37作品
・リフォーム部門	2作品
・住まい手部門	4作品
・アイデア部門	36作品
・学生部門	13作品

審査委員会 平成28年11月14日(作品審査)

表彰式 平成28年12月22日

目次

審査委員長総評	1p
目次	1p
埼玉県知事賞	2p
優秀賞	3～6p
20周年記念賞	7～8p
入選	9～13p
奨励賞	14～15p
応募作品	16～21p



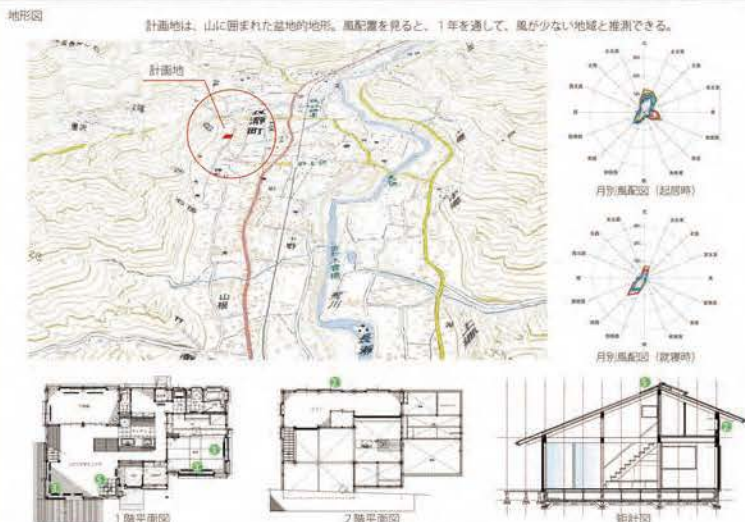
埼玉県知事賞 (建築部門)

ツクル時もツカウ時も環境に負荷を与えないイエ

ツクル時もツカウ時も環境に負荷を与えないイエ

住まい手 × 造り手 が 本気で考えた環境に配慮した家

建設地 埼玉県秩父市長瀬町 1階床面積 100.25㎡(30.31坪)
構造 木造2階建 2階床面積 34.01㎡(7.26坪)
延床面積 124.21㎡(37.57坪)
建築面積 117.16㎡



1 地産地消の究極型。地元で、地元の人の手で、つくる。

伐採・製材・乾燥・プレカット・建設は、長瀬町→秩父市と非常にコンパクトな範囲で行われ、木材輸送距離の約7割は山内輸送で済ませる。



2 地域気候の特性からの計画変更。



秩父盆地に囲まれた地帯は、四季を通じて風が少なく、ある程度風が替わる地域であれば、封鎖的に窓を配置したり、開口部で通風を促すが、この地帯はそれらの手段の効果が低い。そこで本来、平屋の切妻屋根であった計画を変更し、ロフト空間に高窓を配置し、窓位置による通風を期待した。

3 多層構造で日射を微調整する。

主な開口部は多層構造（レイヤー）とした。これによって住まい自身が四季を通じて気候によって、微調整できるようにした。



4 ツカウ時に消費するエネルギーを考える。

一次エネルギー消費	基準値	設計値
56	60	38.5

0値 2.08kWh/㎡・年 0.06kWh/㎡・年
暖房 - 薪ストーブ
冷房 - エアコン（運転あり）
給湯 - ヒートポンプ
照明 - LED電球

屋根 A種フェノールフォーム保冷板1種2号 90mm (熱貫流率0.18W/m²K)
壁 羊毛断熱材 90mm (熱貫流率0.51W/m²K)
床 A種押出し法ポリスチレンフォーム保冷板3種 50mm (熱貫流率0.47W/m²K)
窓 アルミ樹脂複合サッシ・Low-E複層ガラス (熱貫流率2.33W/m²K) ・木製建具

5 なるべく枯渇性エネルギーは使わない。



データ

- 所在地 ▶ 長瀬町
- 構造・階数 ▶ 木造・2階
- 敷地面積 ▶ 442.59㎡
- 延床面積 ▶ 124.21㎡
- 建築面積 ▶ 117.16㎡
- 工期 ▶ 平成27年11月
～平成28年6月
- 工事費 ▶ 約2,900万円
- 居住者構成 ▶ 15歳未満 2人
15歳以上65歳未満 2人
- 応募者 ▶ (株)小林建設
- 設計者 ▶ (株)小林建設一級建築設計事務所
- 施工者 ▶ (株)小林建設

講評

長瀬町の山に囲まれた風が弱い盆地、柿畑に囲まれた敷地に裏山の木から目利きの山師が選定した材木を使って建てた木造住宅。秩父市の製材所との総輸送距離は37.6kmとウッドマイルは極めて短く、エネルギー消費実績も低い。日本の住宅は『夏を旨とすべし(徒然草)』とされて来たが、今ではParis協定達成に向けてとことん省エネ、温室効果ガス排出削減も追求しなければならない。多層構造の開口部の調整により、開放的な風通しを確保しつつ、壁の羊毛断熱材とLow-E複層ガラス、ハニカムサマーモ等で密閉性も確保し、全季節を通じた快適性と省エネルギー性の両立を実現している。一生に一度の家造り、記念に残ることをしたい、という施主の熱い思いが、表題の通り建設過程でも運用過程でも環境負荷が小さい住宅を実現させ、知事賞という記念に残る実績となった。(審査委員:外岡 豊)

この地に住む ～リフォームで叶えた光と風のブリッジ～



リフォームの動機
 離れて暮らすお母様と2世帯で一緒に暮らすためのリフォーム。当初は20年位快適に過ごせる程度のリフォームだったが、温熱環境を考慮したパッシブリフォームへ変更。

設計・施工の工夫点
 ①住まいの基本性能の確保
 断熱：家全体をセルロースファイバーにより断熱。断熱サッシやインナーサッシを多用し、温熱環境を計算しながらバランスをみて採用。耐震補強も同時に行った。
 ②自然エネルギーの活用
 使用していない南側窓を吹き出し、1階のキッチンまで光が届くよう計画。
 ③エコライフスタイルと住まい方
 LDKの吹抜けにより、1・2階の温度差を防ぐ設計で家内シートショックの起きない間取りとしている。
 ④地域らしさ
 地域の断熱を使用したセルロースファイバー。国産しっくい珪藻土の素材を多用している。

施主の感想・満足度
 プランニングの途中で、20年住む家から、一生健康で住み続けたい家に変化した。性能を向上させたことは、快適さを体感でき、ライフスタイルに合わせた間取りの使いやすさに満足している。

住宅の価値向上
 オール電化と、断熱(セルロース6面断熱・インナーサッシ・ハニカムスクリーン・扉)を強化した省エネpassivハウスで、エアコンの使い方もわりと光熱費も下がっている。

<省エネルギー性能 Before>

UA値(kWh/㎡・a)	UA値 1.04(w/m ²) / QIB 3.27
空調・換気設備の稼働率	—
一次エネルギー消費量	—
断熱性能	壁・天井 T 225+100mm
窓	F 215+100mm
床	EPS 90mm
換気設備	24h2段階給排 13
換気設備	—
換気設備	—
換気設備	3種換気
その他	—



<省エネルギー性能 After>

UA値(kWh/㎡・a)	UA値 0.57(w/m ²) / QIB 1.9
空調・換気設備の稼働率	—
一次エネルギー消費量	65.5 GJ
断熱性能	壁・天井 E20-227+60+厚 300mm
窓	E20-227+60+厚 105mm
床	E20-227+60+厚 90mm
換気設備	6段階給排(100%APW)300MB
換気設備	エアコン 3.8kw
換気設備	エアコン 3.8kw
換気設備	電気18℃給湯機(13L+1)
換気設備	3種換気
その他	—
経年経耗率(省エネ性能)	—
削減率(削減率)	約51.0%



この地に住む
 ～リフォームで叶えた光と風のブリッジ～



- データ**
- 所在地 ▶ 鴻巣市
 - 構造・階数 ▶ 木造・2階
 - 敷地面積 ▶ 182.01㎡
 - 延床面積 ▶ 117.2㎡
 - 建築面積 ▶ 77.15㎡
 - 工期 ▶ 平成26年3月～平成26年8月
 - 工事費 ▶ 約2,200万円
 - 居住者構成 ▶ 15歳未満 2名
 15歳以上65歳未満 2人
 65歳以上 1人
 - 応募者 ▶ (株)OKUTA LOHAS studio
 デザインチーム
 - 設計者 ▶ (株)OKUTA
 - 施工者 ▶ (株)OKUTA

講評

光熱費0を目指し、温熱環境を考慮したパッシブ建物に大改造、もちろん地震国であるので耐震補強もしている。かなり大きくリフォームしているので工事費については大変であったろうと思うが、シンプルで使いやすい間取りに変更している。家全体をセルロースファイバーで断熱。リフォーム後の省エネルギー性能もある。2階の床を抜き、吹き抜けを作って光の利用をうまく使い、又、その吹き抜けのおかげで家の中の急激な温度差を防ぐ効果もある設計になっている。オール電化や、セルロース断熱、断熱サッシ、インナーサッシの使用でかなりの省エネ住宅であり、しっくい、珪藻土の使用も体にも優しい素材である。(審査委員: 佐藤 啓智)

産業道路の家

産業道路の家 1991~2016
土と緑と暮らしを楽しむ省エネ住宅へのリフォーム

1991年に竣工した青森ヒバで建てた木造住宅は、夫婦と子供3人、妻の両親の7人が暮らす、子育ての住まいでした。両親の介護、補助り、子供たちが成人し独立した現在は、夫婦2人の暮らしに変わりました。
2010年から、断熱性能を改善する省エネ住宅工事、そして、空き家になった隣地を購入して、畑とデッキをつくりました。
仲間と集い、庭の畑を楽しむ住まいへとリフォームをしてきました。



1991年、私道から見る建て込んだ建物



2011年



空き家になった隣地を購入して、取り戻した空地に小さな畑をつくった

緑化とコミュニティ計画

1. 土と緑の空地をつくる 2010年秋
敷地は1970年代に、畑を小宅地に買収した宅地になった跡地7.66㎡を買い戻して、畑とデッキをつくり、自然を楽しむ計画です。土と緑の空地は住宅のまちなみを変え、日照と通風を確保することができました。



2010年



2016年

2. 木のデッキをつくる 2011年3月
緑を楽しみながら、気軽に仲間が集う場所をつくりました。庭の手入れをしていると近所のひとに声をかけられるようになります。夕方はビールのグラスを片手にひと息つくひとは最高です。友人が集まってバーベキューを楽しむ、熊を脱がずに、気軽にお茶に立ち寄る友人が増えました。デッキにつながる階段が使っていた部屋は、友人の作品展などの小さなギャラリーとして活躍しています。

省エネ住宅工事

1. 窓の断熱性能の改善 2011年12月
シングルガラスのサッシの断熱性能を改善するために、インナーサッシ取付と、一部ペアガラスに交換して、結露を防止し、断熱効果を改良しました。



1階平面図

2. 外壁の外断熱工事 2016年6月
高気密サイディングの外壁を断熱サイディングにリフォームしました。



2階平面図

建築仕様一本建2階建て
敷地面積—12.96㎡ (33.30m×37.66m)
建築面積—107.47㎡ (11.0m×9.74m)
延床面積—20.95㎡ (11.0m×1.86m) (2階/17.1㎡)
バルコニー—5.93㎡ (100%)
管理費—117.3円 (100%)
地権者—建設局



1階平面図 S-1/100



2010年秋、更地に土を少しづつ盛り起こした



2011年3月、デッキ上棟



2階からデッキと庭を見る



ブリック



半円の階段にはキッチンの一部が飛び出している



2階は大きなひつつの空間



ウッドデッキは特設の集う場所に



3月のバラを楽しむバーベキュー



キッチン内蔵



半円の階段にはキッチンの一部が飛び出している



2階は大きなひつつの空間



デッキ断面図



友人の作品を展示したギャラリー



ウッドデッキは特設の集う場所に



3月のバラを楽しむバーベキュー

データ

- 所在地 ▶ さいたま市
- 構造・階数 ▶ 木造・2階
- 敷地面積 ▶ 156.96㎡
- 延床面積 ▶ 90.03㎡
- 建築面積 ▶ 57.11㎡
- 工期 ▶ 平成22年12月
～平成28年6月
- 工事費 ▶ 800万円
- 居住者構成 ▶ 15歳以上65歳未満 1人
65歳以上 1人
- 応募者 ▶ 塚野 雅章
- 設計者 ▶ サイトー級建築士事務所
- 施工者 ▶ (有)北都

講評

私たちの一生は様々なライフステージを経て過ぎていきます。大家族での暮らしは時間の流れも速くエネルギーの依存度も大きくなります。一方、退職すると余暇活動時間を有効に使えるようになり、地域との関係性も持てるようになります。今回の応募作品は住まい手の丁寧さと優しさが滲み出た暮らし方だと思いました。ハード対策では、省エネに配慮したリフォームで夏の暑さや冬の寒さを和らげ、光熱費やCO₂の削減を可能にしています。さらに、自ら栽培した農作物を食し、近隣の方とのコミュニティを大事にし、緑に囲まれた空間を楽しんでおられます。このようにハード面とソフト面の両方を兼ね合わせた丁寧な暮らし方が、環境への配慮にもつながるのだと思いました。(審査委員:秋元 智子)

屋根通気カバーによって冷房負荷低減をはかる

■ 屋根通気カバーによって冷房負荷低減をはかる ■

【アイデア】

伝統構造の使われている知恵から無駄なエネルギーを使わない住宅にする

「屋根の上に日影をつくる」と

- ↓ 屋根面の温度が下がる
- ↓ 小屋裏温度が下がる
- ↓ 天井面の放射熱がなくなる
- ↓ 最上階の室温が安定する
- ↓ エアコン負荷の軽減ができる

効果

- ・最上階の冷房負荷を軽減する
- ・輻り熱を小さくして、夜間を快適に過ごす
- ・既存建物にも簡単に取り付けできる
- 高い省エネ効果をもたらす・

②土蔵づくりに学ぶ

- 土蔵の中は「なぜ、涼しいのか」
- 土蔵には家財が痛まずに保管できる
- 工夫がある＝人間にも快適

工夫

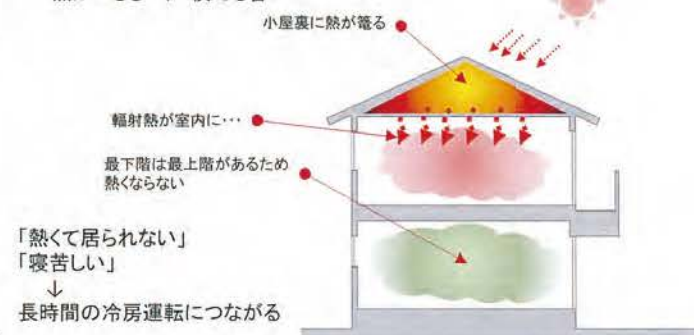
- ・窓がない
- 日射による熱を入れない
- ・壁が厚い
- 熱を伝えにくくする
- 外気の熱をさえぎる
- ・屋根の下が開放されている
- 蔵の上部には日影ができています
- 風が通り抜ける
- 熱を籠らせない



※現代住宅でも屋根の上に屋根や日影があれば快適になる

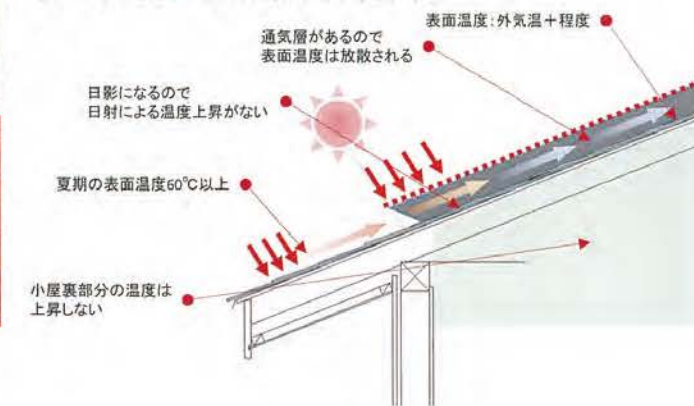
①現代住宅がかかえる課題

- ・最上階の部屋は室温と放射熱が影響して「冷房を入れても暑い」
- ・屋根面からの熱(輻射熱)が大きく影響している
- ・特に高気密高断熱住宅では設計を失敗すると…
- 夜になると熱くなる
- 熱がこもる → 夜でも暑い



③アイデア詳細

- ・通気層の確保
- ・日影と放熱するためのカバー材(板材やシート)を取り付ける
- 例: メッシュシート、波タン、サイディングなど



データ

応募者 ▶(株)アキュラホーム埼玉北支店

講評

古くから伝わる日本の伝統構造である土蔵造りをヒントに、現代住宅がかかえていた輻射熱への対策を提案されました。小屋裏にこもる熱への対策として、屋根の上にもう一つの屋根を造ることにより、下の屋根が日影になります。そして、その上下の屋根の間をあげ、通気性をよくすることにより、特に熱のこもりやすい最上階小屋裏の熱を防いで(日影)、また除く(通気)ことができます。日本古来の知恵を生かしました。

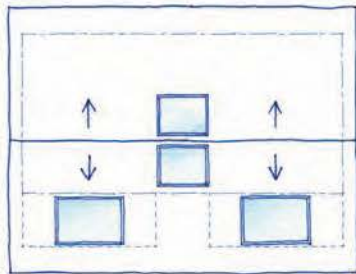
(審査委員:片瀬 重幸)

光と風の家

光と風の家



平面図 1/100



屋根伏図 1/100



南立面図 1/100



設計趣旨

最近のニュースで「異常気象」と言う言葉をよく耳にする。その環境の中で快適な暮らしができる家はないだろうか。と考えると「緑間」・・・日本の気候に合わせた工夫がされていると思う。この材や空間を現代の住宅に取り入れ、「異常気象」を快適に過ごせる新たな住宅を提案します。



雨側の戸にすだれ格子の開口部を使用した軒風な外観。



中央に通る土間は合意の間、トンネルのような役割を果たす。換気が良くなり暑い空気がこもらない。冬は、屋根に設けたトップライトによって温かい空間ともなる。



土間と緑間の上部に設けたトップライト。たくさん光を取り入れて室内を明るく照らす。夏の暑い日差しは開閉式の天井によって遮断することができる。



緑間にはトップライトを設け、サンルームとして活用する。すだれ格子の戸の開閉により風の通りが調整できる。



東立面図 1/100



断面図 1/100



冬

天井部分の側を開け、すだれの格子戸を閉める。トップライトから入り込んだ日差しは寝室まで入り込み、暗くなりやすい冬でも充分な明るさをもたらす。また、緑間サンルームで温められた空気は室内に流れ込み気持ちよく過ごせる。



夏

天井部分の側は閉め、すだれの格子戸は開け放つ。トップライトからの強い日差しは遮られ、室内が暑くなりにくく、開け放ったすだれの格子戸からは風が流れ込み涼しく過ごせる。



～緑間サンルーム～

緑間の天井部分は奥のようになっている。夏の間は上の戸を閉め、すだれの格子戸を開ける。強い日差しで温められた空気を室内に入らないようになっている。冬は上の戸を開けトップライトから日差しを取り込み、緑間部分で温められた空気を室内に入れる。細かい目のすだれの格子戸を使用しているので外側からは目隠しになる。暑さにも、寒さにも対応できる緑間サンルーム。季節に合った環境で快適に過ごせる。

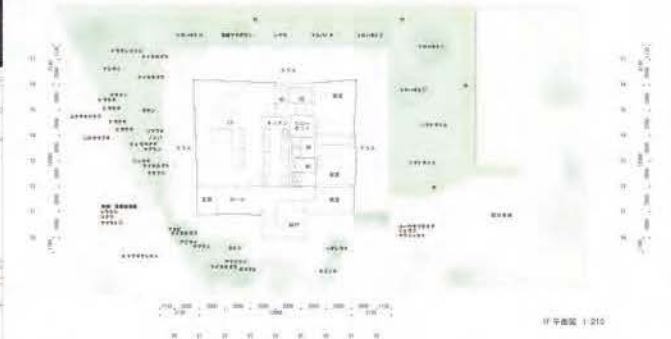
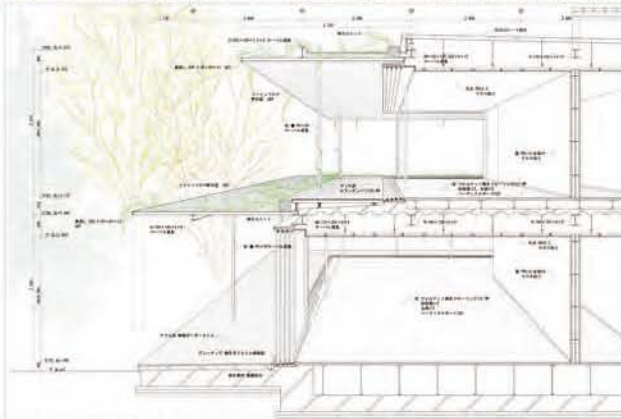
データ

- 構造・階数 ▶ 木造・1階
- 敷地面積 ▶ 300㎡
- 延床面積 ▶ 96㎡
- 建築面積 ▶ 96㎡
- 応募者 ▶ 埼玉県立春日部工業高等学校 池田 茜

講評

化石燃料によるエネルギーを極力使わず、太陽の光と熱及び家を通り抜ける風を利用した環境共生住宅を目指した明快な提案である。屋根に設けられた4つの窓と住宅の中央部で南北に通る土間及び居室の南側の広縁が特徴で、それなどによって家の奥まで明るく風通りも良い。冬のあたたかい陽射しを楽しむことと夏は屋根の窓に付加された襖状の日射遮断の引き戸を閉じる仕掛けが考えられている。ただ埼玉地域でも夏は北側の屋根から差し込む午後の太陽光は相当の暑さをもたらすので、天井内の熱気の排出にも工夫が必要となる。一層の工夫を期待したい。(審査委員:三井所 典典)

パーゴラの家



パーゴラの家

この住宅は、築30年の住宅の建て替えで、既存住宅の構造を継承した後、解体し、敷地を分割するという条件で、敷地のは半世紀前に買われた跡があとあり、その跡は、当住宅にとってははもういらない。近隣の住宅環境の形成に準ずる形で、そこで、できるだけ既存の跡を残すとともに、国の緑と自然のより親密で、新しい環境性を高上げられる事を目標しました。居室の露出したところには、壁を一切つらず、全部に可変的な木製サッシとし、窓に対して開閉可能な「丸窓」としています。木製サッシを開閉することで、内装と外の境界はほとんど消失され、露出したサッシが窓となり、そして、この住宅の最大の特色が、住宅受取を敢行するように、窓に向かって3m張り出したパーゴラ付の庭です。窓の上には人工土壌の緑化コンクリートのせ、テイクカズラを繁殖させています。パーゴラの柱が、心地よい緑陰をつくるとともに、住宅のシルエットを覆い、雨の経過とともに気象神が舞で覆われ、住宅と周囲の境が切れなくなり連続することを想定しています。

所在地 埼玉県 所 在 地
 構造 鉄骨造 地上2階
 敷地面積 791.89㎡
 延床面積 230.80㎡
 建築面積 140.39㎡

工期 平成26年5月～平成28年1月
 工事費 約11,000万円
 居住者構成 15歳以上65歳未満 2人
 65歳以上 2人

データ

- 所在地 ▶ さいたま市
- 構造・階数 ▶ 鉄骨造・2階
- 敷地面積 ▶ 791.89㎡
- 延床面積 ▶ 230.80㎡
- 建築面積 ▶ 140.39㎡
- 工期 ▶ 平成26年5月～平成28年1月
- 工事費 ▶ 約11,000万円
- 居住者構成 ▶ 15歳以上65歳未満 2人
65歳以上 2人
- 応募者 ▶ (株)建築家合同事務所 永山 明男
- 設計者 ▶ (株)建築家合同事務所 永山 明男
- 施工者 ▶ (株)山崎工務店 山崎 聡亮

講評

惜しくも埼玉県知事賞にはなりませんでしたが、私にとってはこの作品が知事賞です。今回特別にうけられた記念すべき20周年記念賞に輝きました。緑いっばいの敷地に、木質の壁とコンクリート打ち放しの塀。その上に広くのびたパーゴラが、黒くくっきりとした水平線で青い空の下、その輪郭を強調しています。その洗練された外観によって、まわりを行き交う人々にいつもすがすがしさを感じさせます。中にはいると、2枚の黒い面の間に2段の透明な住空間があります。その周囲に長くのびたパーゴラにはテイクカズラが広がり、雨の日には静かなしずくを落とし、晴れの日には強い陽射しをやさしい木漏れ陽に変えます。時間の経過とともにお住まいの方に時の流れを感じさせながら、ゆっくりと成長し続けます。(審査委員:片淵 重幸)



現代版『土間のある家』 ～大切に造る。大切に受け継ぐ～

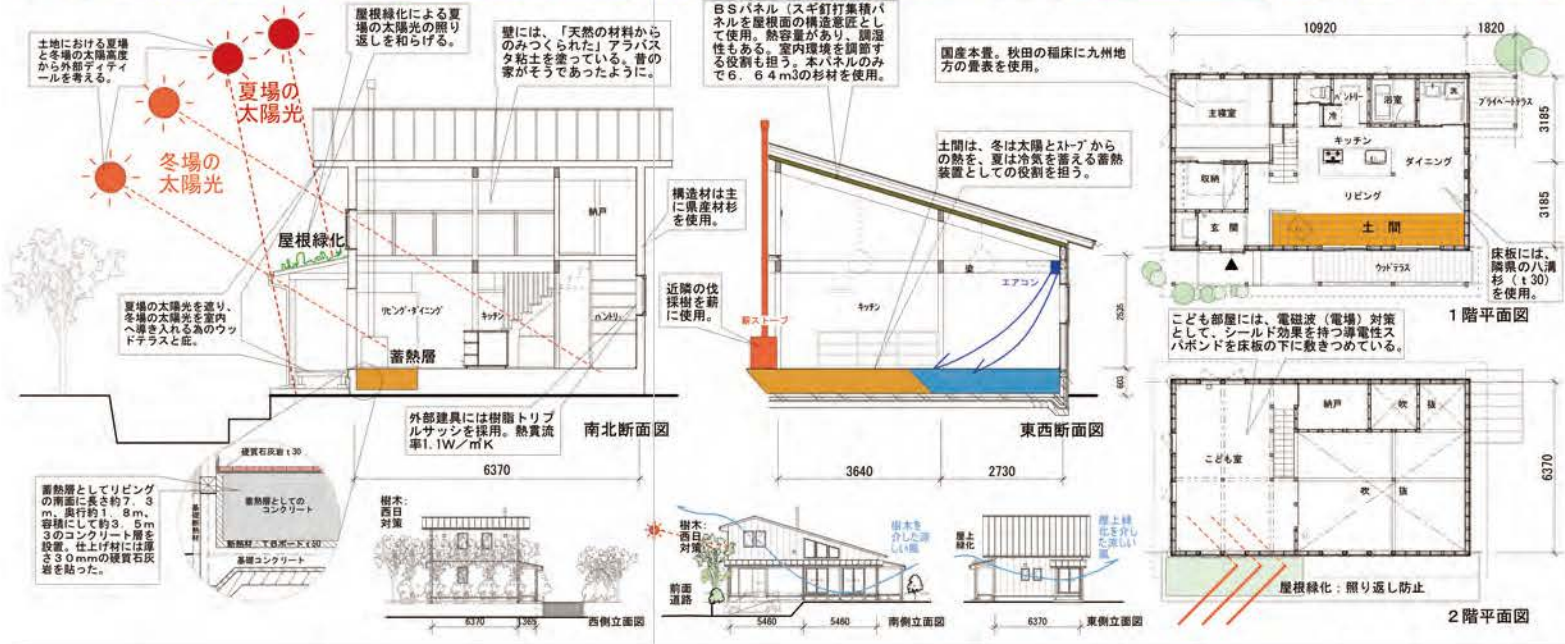


データ

- 所在地 ▶ 川越市
- 構造・階数 ▶ 木造・2階
- 敷地面積 ▶ 213.12㎡
- 延床面積 ▶ 103.51㎡
- 建築面積 ▶ 87.78㎡
- 工期 ▶ 平成25年11月
～平成26年6月
- 工事費 ▶ 約2,300万円
- 居住者構成 ▶ 15歳未満 3人
15歳以上65歳未満 2人
- 応募者 ▶ ピオ・ハウス・ジャパン 一級建築士事務所、前橋工科大学 石川 恒夫
- 設計者 ▶ 石川 恒夫 + 吉恒内 英子
- 施工者 ▶ (株)ピオ・クラフト 落合 伸光

講評

昔の住まいを現代版にアレンジでしょうか。省エネに配慮した設計、光や熱、緑、風さらにバイオマスなど自然の力を活用、近隣の木材使用でウッドマイレージの削減、アレルギーに配慮した壁塗装、電磁場対策、建築廃材の削減など環境と健康を考えた家作りです。特に省エネ対策としては、窓は断熱効果が高い樹脂トリプルサッシ、屋根断熱は杉材から作った集積パネル、さらに土間を設けることで蓄熱や輻射熱を利用した冷暖房効果の創出。特に、冬の暖房は土間で新ストーブを燃焼させることで蓄熱効果を高め、化石燃料の使用を減らすことでCO₂削減を実現しています。たぶん一年中エアコンに頼らない暮らしが実現できるのではないのでしょうか。(審査委員:秋元 智子)



～ゆめけんの家造り～埼玉で300mm断熱を実現



応募者: (株)夢・建築工房 岸野 浩太

データ

所在地 ▶ 川越市
 構造・階数 ▶ 木造・2階
 敷地面積 ▶ 194.44㎡
 延床面積 ▶ 118.83㎡
 建築面積 ▶ 73.67㎡
 工期 ▶ 平成25年5月
 ～平成25年11月
 工事費 ▶ 約2,700万円
 居住者構成 ▶ 15歳以上65歳未満 3人
 設計者 ▶ (株)夢・建築工房
 施工者 ▶ (株)夢・建築工房

講評

壁や窓の断熱性能に非常に配慮した住宅です。そのため、夏冬エアコン1台で全館を冷暖房し、費用は年間12,000円程度。暑さ寒さから快適に暮らせる住宅を実現しており、健康面でも安心です。太陽光発電を載せればZEH住宅であり、CO₂ゼロの環境にやさしい暮らしができます。ウッドマイルージも少ない県産材を使用し、あらゆる面でエネルギーの削減に配慮した住宅です。(審査委員:秋元 智子)

つながる家



応募者: (有)あん工房 小林 康夫

データ

所在地 ▶ 草加市
 構造・階数 ▶ 木造・2階
 敷地面積 ▶ 418.74㎡
 延床面積 ▶ 174.97㎡
 建築面積 ▶ 129.85㎡
 工期 ▶ 平成28年2月
 ～平成28年8月
 工事費 ▶ 約3,800万円
 居住者構成 ▶ 15歳未満 2人、
 15歳以上65歳未満 2人
 設計者 ▶ (有)あん工房
 施工者 ▶ (株)高砂建設

講評

吹き抜けをかなり大胆に設けた建物である。健康被害につながる化学物質を含む材料の使用をなくし、結露を抑え快適な室温と良好な室内環境を目指した建物である。これだけ大きな吹き抜けであるが、建物全体を包む外断熱と二重通気工法により良好な室内環境を保っている。住宅性能評価の取得もしている。次世代までつながる家である。(審査委員:佐藤 啓智)

小川町 原川の家



応募者: (株)小林建設

データ

所在地 ▶ 小川町
 構造・階数 ▶ 木造・2階
 敷地面積 ▶ 883.77㎡
 延床面積 ▶ 143.61㎡
 建築面積 ▶ 113.04㎡
 工期 ▶ 平成26年8月
 ~平成27年1月
 工事費 ▶ 約3,500万円
 居住者構成 ▶ 15歳以上65歳未満 2人
 65歳以上 1人
 設計者 ▶ (株)小林建設一級建築士事務所
 施工者 ▶ (株)小林建設

講評

太陽の光と熱を大切に扱い、住み心地のよさを配慮したパッシブ型のすぐれた住宅である。住み慣れた敷地での建替で周りの環境条件を熟知された発注者と誠実な設計者の設計プロセスの応答が目に見えるようである。

新しく設けられた南西側の明るい通り抜け可能な土間は内外をつなぐ生活装置としても、光と熱の採り入れや制御する環境装置としても見事で、この住まいに空間的な豊かさをもたらしている。大屋根の深い庇や居間の大きな窓上に付けられた小庇なども配慮が行き届いている。室内の温度も雰囲気もあたたかく、のびのびとして和みを感じる住宅である。(審査委員:三井所 清典)

深谷市 四方庭の家



応募者: (株)小林建設

データ

所在地 ▶ 深谷市
 構造・階数 ▶ 木造・2階
 敷地面積 ▶ 500㎡
 延床面積 ▶ 129.80㎡
 建築面積 ▶ 96.68㎡
 工期 ▶ 平成24年7月
 ~平成25年2月
 工事費 ▶ 約2,500万円
 居住者構成 ▶ 15歳未満 2人
 15歳以上65歳未満 2人
 設計者 ▶ (株)小林建設一級建築士事務所
 施工者 ▶ (株)小林建設

講評

季節による風向、風速を十分配慮した設計。庇と軒の出を調整して冬の日射確保と夏の日射遮断を適度に両立。四方の庭には常緑樹、落葉樹を適宜配し、防風と日射調整効果も追求。真南に向けた主開口部前面に設けた大きな木製デッキは夏の日射照り返し防止と冬の日差しを取り込む微気候緩和効果もあり、部屋の延長で屋外生活も楽しめる。薪ストーブ、OMソーラー使用、羊毛断熱材等の熱性能もよく、県内産木材認証材使用、ウッドマイルも短い。(審査委員:外岡 豊)

タタミリビングの家



応募者:一級建築士事務所 co-designstudio 小嶋 直

データ

所在地 ▶ 川口市
 構造・階数 ▶ 木造・2階
 敷地面積 ▶ 100.07㎡
 延床面積 ▶ 112.57㎡
 建築面積 ▶ 59.99㎡
 工期 ▶ 平成26年9月～平成27年3月
 工事費 ▶ 約2,700万円
 居住者構成 ▶ 15歳未満1人
 15歳以上65歳未満2人
 設計者 ▶ 一級建築士事務所
 co-designstudio 小嶋 直
 施工者 ▶ ゆたか建設(株)

講評

この家は日差しがよい二階に設けたタタミリビングを主居室とした明るい住まい。軒と袖壁で日射を調整、空気集熱式ソーラーステム「そよ風」を備え、遮熱フィルムとハニカムサーモで断熱性を補完。夏、冬の室温実測と毎月のエネルギー消費量実績がともに示されており、夏は「そよ風」排気、冬は「そよ風」暖気取り入れにより、室温を適度な範囲に保ち、快適性と省エネ性能が実証されている。木材の8割を県産材(西川材)を使用、彩の木補助事業対象。(審査委員:外岡 豊)

Tsurugashima Renovation House

～物を大切に、家族の絆と歴史を継承する家～



応募者:近藤建設(株) 永島 梨倫

データ

所在地 ▶ 鶴ヶ島市
 構造・階数 ▶ 木造・2階
 敷地面積 ▶ 278.49㎡
 延床面積 ▶ 247.92㎡
 建築面積 ▶ 159.99㎡
 工期 ▶ 平成28年1月～平成28年4月
 工事費 ▶ 約3,500万円
 居住者構成 ▶ 15歳未満2名
 15歳以上65歳未満2人
 65歳以上2名
 設計者 ▶ 永島 梨倫
 施工者 ▶ 近藤建設(株)

講評

思い切ったファサードデザインの大変更が、素敵な外観に変わり現代風に模様替えしている。もともと大きな建物であるが屋根形状も変更し耐震性能も高めている。サッシ交換や断熱材を入れ替え断熱性能の向上を図った。中庭の利用での採光、通風、又、開放感ある建物リフォームである。リノベーションによる建設時CO₂の大幅削減である。できればエネルギーの性能表があれば良かったが、建物外観デザインが素晴らしい。(審査委員:佐藤 啓智)

インナーバルコニーのある家

～環境と共生する暮らし～

現代の縁側

最近あまり目にする事がなくなった縁側は、家の中のよう外のような、なんとも心地の良い空間。インナーバルコニーも縁側同様に、家の中と外を繋いでくれます。軒があることで、日中の日は遮られ夏でも涼しい風が家の中に入ってきます。窓を開ける時間が長くなればなるほど、自然と季節を感じる事ができるでしょう。環境と共生し、エコな暮らしをするためにも、インナーバルコニーをお勧めします。

インナーバルコニーのある家
～環境と共生する暮らし～

自然のエネルギーを上手く利用した家づくりは、環境にも優しく、人にも優しい。

応募者: (株)アキュラホーム埼玉西 柘植 美里

講評

サッシ開口を大きく変更し、インナーバルコニーの活用を広げた。間取りがわかる図面があれば良く理解できたのであるが、インナーバルコニーの配置によっては部屋が暗くなる場合がある。インナーバルコニーは冬の採光と夏の通風にもよく、環境にも優しい現代の縁側である。(審査委員: 佐藤 啓智)

縁側のある家

縁側のある家

先人の知恵、縁側のある家は「エコハウス」だった!

縁側といえば、「今ではなくなってしまったレトロなもの」という印象を持たれる方も多いかもしれません。世代や、育った地域によっては、その存在すらご存知ない方もいるでしょう。かつては縁側は、エアコンなどが存在しない昔の日本家屋にはなくてはならないものだったのです。

縁側の上に張り出した屋根の庇は、夏場の高い位置からの太陽の日差しから守り、家の中を涼しく保つのに一役買っていました。反対に冬は、低い位置から太陽の光をまんべんなく部屋に行き渡らせることで、家の中を温かくする役目を担っていたのです。いわば、室内と室外との中間にある、フィルターのような役割を担っていたといえはわかりやすいかもしれません。



人の集まる場所、「縁側」

外と中をつなぐフィルターのような縁側には、自然と人が集まる魅力があります。日中は日向ぼっこをしたり、庭園を眺めたり、夜は涼しくなってきた外の空気を吸って涼んだり、線香花火を楽しんだり、過ごし方はさまざまです。家の外側にある廊下という役割もでき、どの部屋も縁側を通してアクセスが可能なプランや、コの字型の中庭に面する縁側があるプランなどは、さらに家族が集いやすくなるでしょう。

家族が集うことにより、光熱費なども削減でき、何より家族間のコミュニケーションの場になります。



「縁側」を現代風にアレンジ!

現代の家の間取りは、なるべく無駄なスペースを無くす手法がとられているので、縁側は難しいと考えられるかもしれませんが、そんなことはありません。ウッドデッキを縁側のように演出し、建物の形やLDKなどの配置を考慮すれば、無駄なスペースを作らずとも、縁側を設置することができます。

応募者: (株)アキュラホーム埼玉西 花田 理紗

データ

敷地面積 ▶ 150㎡
延床面積 ▶ 100㎡
建築面積 ▶ 50㎡

講評

建物平面計画と、外部写真が相違うが愛嬌であると考えてください・・・。

防犯上心配であるが、アプローチ以外、四方を植栽、低い塀の外構で囲い開放感があり、自然の風、太陽を味方につけたところがいいですね。これからの日本の将来を背負って立つ若い方の未来が、環境共生に目を向けて頑張っていることに感謝です。

(審査委員: 佐藤 啓智)

北側にある快適な住宅



応募者: 埼玉県立大宮工業高等学校 大西 実恵

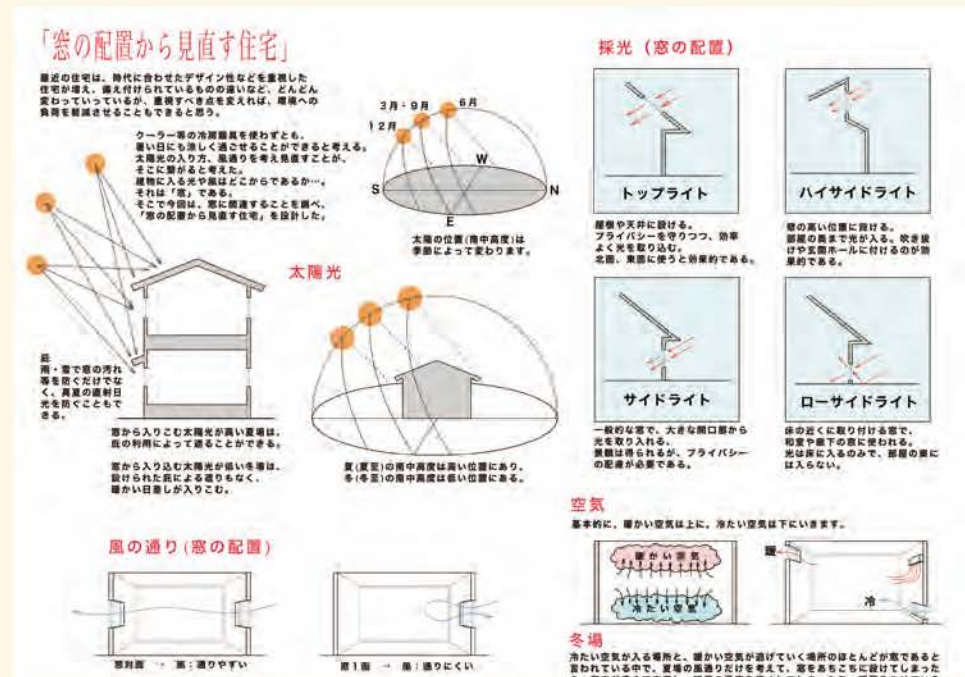
データ

構造・階数 ▶ RC造1階
敷地面積 ▶ 132.03㎡
延床面積 ▶ 62.09㎡
建築面積 ▶ 62.09㎡

講評

市街地に多く見かける南側の庭の狭い、隣地からの北側いっぱい建つ住宅の日当たり及び通風不足、そしてプライバシーの確保への提案です。屋根に開閉の出来るルーバーを冬の日射角度に合わせて設置することにより、今まで暗く寒かったお部屋に、夏の通風と冬の暖かさ、そして明るさを採り入れることが出来ました。あわせて、狭い庭でも植樹をすれば、プライバシーも保たれます。結果、狭い南庭にもかかわらず快適な家となりました。着眼点がいいと思いました。(審査委員: 片淵 重幸)

窓の配置から見直す住宅



応募者: 埼玉県立春日部工業高等学校 大島 優衣

データ

構造・階数 ▶ 木造2階
敷地面積 ▶ 159.5㎡
延床面積 ▶ 118㎡
建築面積 ▶ 70㎡

講評

『窓』の多機能性に多面的に考察し、窓に注目しつつ実例設計もした秀作。『窓』という抽象化された開口部を対象に考察は完結しているが、次は実際の具体的な窓について考えて見てはいかが。引違窓、突き上げ窓、ジャロジー窓、はめ殺し窓、天窓も、と言った窓の様式や、サッシの種類、材質、性能(断熱性、遮熱性、気密性、防火、防災、耐久性等)、雨戸や網戸や障子との組み合わせも、そして意匠面でも。丸窓で切り取った庭の景色を演出するとか、わくわくする窓枠も考えて見てください。(審査委員: 外岡 豊)

川越富士見町の住宅/風景と共生



応募者: 筒井公一建築研究室 一級建築士事務所 筒井 公一

木箱の家—街環境と自然を大きく吸い込む家—



応募者: 鈴木 宏亮+山村 尚子/すずき

光井戸の家



応募者: 桐山和広建築設計事務所 桐山 和広

Around the Corner Grain



応募者: Eureka 佐野 哲史、堀 英裕、稲垣 淳哉 MARU.architecture 高野 洋平、森田 祥子

passiv has 大宮大和田～日だまりの家～



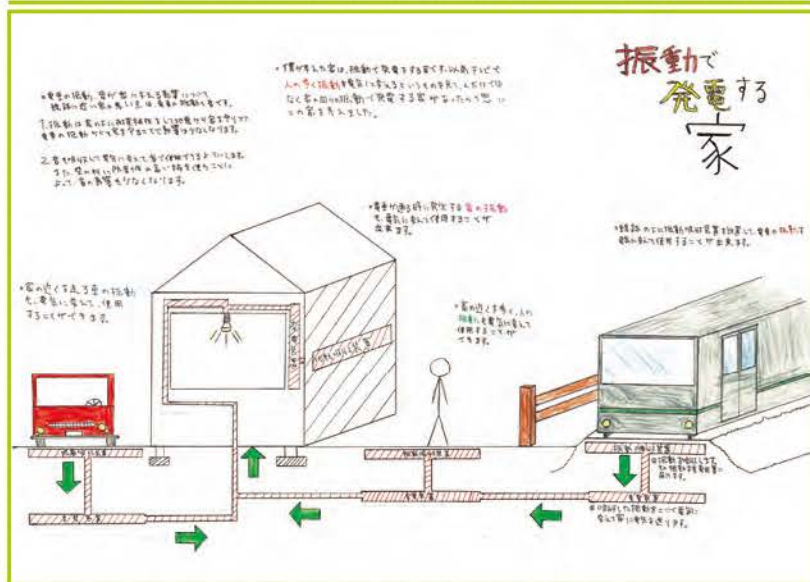
応募者: (株)OKUTA LOHAS studio デザインチーム

竹の大切さを忘れない



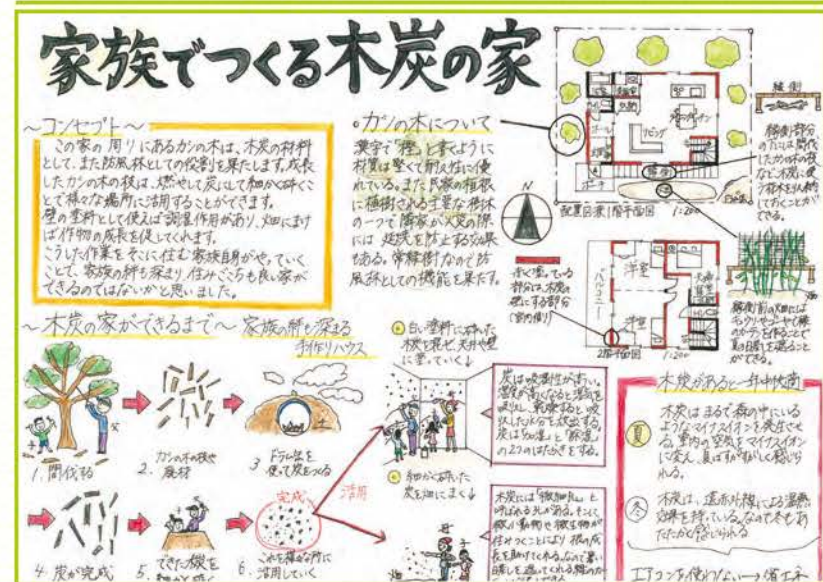
応募者: 埼玉県立大宮工業高等学校 長谷川 愛

振動で発電する家



応募者: 埼玉県立川越工業高等学校 赤岩 春紀

家族でつくる木炭の家



応募者: 埼玉県立大宮工業高等学校 井島 祐紀

自然を感じながら暮らす
シンプルモダンの家



応募者: (株)アキュラホーム 埼玉中央 柿崎 寛

「住み継ぐエコ」



応募者: (株)アキュラホーム 埼玉中央 遠藤 雅人

「こころ豊かに暮らす家」



応募者: (株)アキュラホーム 岩橋 功一郎

健康的な生活「彩風・採光」



応募者: (株)アキュラホーム 高石 雄平

スキップフロアのある家



応募者: (株)アキュラホーム 本庄営業所

太陽と風を感じる家



応募者: (株)アキュラホーム 埼玉中央 松宮 大樹

北袋の家
敷地環境に特化した家



応募者: 木内 聡

光と風を感じる家



応募者: (株)アキュラホーム 埼玉西 高山 洋幸、佐藤 佑哉

太陽光発電と風の流れを
考慮したエコ住宅



応募者: (株)アキュラホーム 埼玉中央 齋藤 基

緑に囲まれた平屋の家
自然の力を活用した省エネハウス



応募者: アキュラホーム 埼玉西 石川 慶和

自然とすまう家
自然のエネルギーをこく
自然に取り入れる方法



応募者: (株)アキュラホーム 埼玉西 柘植 美里

「光」と「風」と「遊び」を
取り込んだ省エネ・エコハウス



応募者: (株)アキュラホーム 須藤 大樹

木のぬくもりを感じる家



応募者: (株)アキュラホーム 埼玉中央 弥富 諒太

「風」と「陽」を取り入れる
住まい



応募者: (株)アキュラホーム 堀内 国士

太陽がのびる木陰と日向で
すまう環境共生住宅



応募者: (株)アキュラホーム 宮澤 拡大

PLUS ENERGY HOUSE
(PEH)



応募者: (株)アキュラホーム 埼玉西 橋尾 美祐

応募作品

風通しのよい家



応募者：㈱アキュラホーム埼玉北支店

CUBE17
くじゅうなな



応募者：㈱環境開発研究所 ㈱島崎義治建築設計事務所
毒島景観建築設計事務所

「風とともに暮らす街」



応募者：ケイアイスター不動産㈱ 戦略開発本部 デザイン部

「未来基準の家」
「トライハウス」



応募者：近藤建設㈱ 發知 良幸、奥田 裕香

家計にやさしい家



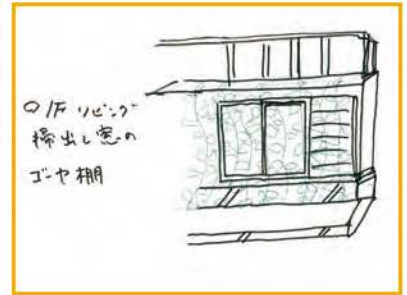
応募者：㈱アキュラホーム 木村 菜由佳

自然と共に暮らす木の住まい



応募者：㈱アキュラホーム埼玉西 北川 竜二

「自給自足」
日よけのゴーヤ棚



応募者：東京ガス㈱ 三須 一弘

熊谷の家



応募者：㈱小林建設

伝統と未来をつなぐ
エコハウス

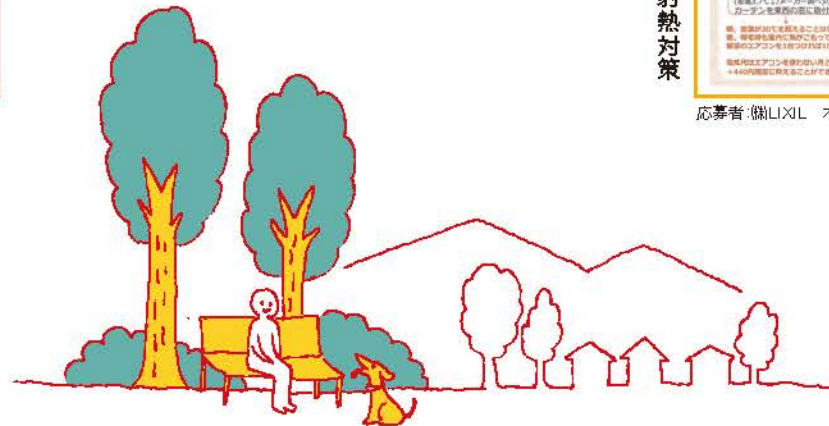


応募者：㈱藤島建設 佐藤 善之

夏でも快適！日射熱対策



応募者：㈱LXL 木下 塚里子



風をデザインするエコ住宅

風をデザインするエコ住宅

風の通り道をデザインすることで、暑から涼へ、涼しい夏の夜を過ごし、夏の夜を心地よく過ごすことができます。

建築物の高さや形状、屋根の傾斜に合わせた自然風を利用することが可能です。

室内の風気は可動調気圧調整器具を制御することで、暑を逃がした状態で快適な室内環境を維持し、夏の夜を心地よく過ごすことができます。

また、暑が入る前に、涼しい風の通り道を確保することで、暑を逃がし、涼しい夏の夜を心地よく過ごすことができます。

応募者: ㈱アキュラホーム本庄営業所

夏を乗りこなす住まい

夏を乗りこなす住まい

夏の暑い時期に快適に過ごすための住まいをご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、夏の暑い時期に快適に過ごすための住まいをご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム埼玉中央 土屋 和之

自然を活かす家

自然を活かす家

自然の恵みを活かした住まいをご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、自然の恵みを活かした住まいをご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム埼玉中央 内田 晶

「太陽をとことん活かす家」
太陽光パネル×有機薄膜太陽電池

**「太陽をとことん活かす家」
太陽光パネル×有機薄膜太陽電池**

太陽光パネルと有機薄膜太陽電池を組み合わせた省エネシステムをご紹介します。

屋根から外壁に至るまで、とことん発電する家！

応募者: ㈱アキュラホーム 炭屋 勇太

囲炉裏の暖房負荷の軽減について

囲炉裏の暖房負荷の軽減について

囲炉裏の暖房負荷を軽減するための提案をご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、囲炉裏の暖房負荷を軽減するための提案をご紹介します。

応募者: 東京ガス㈱ 齊藤 比呂志

薪ストーブのある家

薪ストーブのある家

薪ストーブのある暮らしについてご紹介します。

薪ストーブの暖房効果、省エネ効果、環境への配慮など、薪ストーブのある暮らしについてご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム 新熊谷営業所

住まいと暮らすのサロン

住まいと暮らすのサロン

住まいと暮らすのサロンをご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、住まいと暮らすのサロンをご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム 木村 栄由佳

エコで快適実現住宅

エコで快適実現住宅

エコで快適を実現する住宅をご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、エコで快適を実現する住宅をご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム埼玉中央 皆川 真帆

自然エネルギーと共に暮らす住まい提案

自然エネルギーと共に暮らす住まい提案

自然エネルギーを活用した住まい提案をご紹介します。

太陽光発電、自然換気システム、断熱性能の高い建材など、自然エネルギーを活用した住まい提案をご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム埼玉西 太田 恵莉

風の流れを感じる家

風の流れを感じる家

風の流れを感じる家をご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、風の流れを感じる家をご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム埼玉中央 李 政彦

ECO HOUSE
～自給自足のエコ暮らし～

**ECO HOUSE
～自給自足のエコ暮らし～**

自給自足のエコ暮らしをご紹介します。

自家消費型太陽光発電、自然換気システム、断熱性能の高い建材など、自給自足のエコ暮らしをご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム埼玉中央 中澤 佑樹

みどりの住まい

みどりの住まい

みどりの住まいをご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、みどりの住まいをご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム埼玉中央 吉岡 正明

快適さと環境配慮を兼ねそなえた家

快適さと環境配慮を兼ねそなえた家

快適さと環境配慮を兼ねそなえた家をご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、快適さと環境配慮を兼ねそなえた家をご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム埼玉中央 平尾 まい

「光」と「風の流れ」を感じる住まい

「光」と「風の流れ」を感じる住まい

「光」と「風の流れ」を感じる住まいをご紹介します。

自然の風を利用した自然換気システム、太陽光パネルによる省エネシステム、断熱性能の高い建材など、「光」と「風の流れ」を感じる住まいをご紹介します。

応募者: ㈱アキュラホーム 西尾 正利

太陽と風を感じる家
十回遊動線



応募者：(株)アキュラホーム埼玉中央 鮎川 浩

「家事ラク」・「家計ラク」の住まい!!
環境配慮のナチュラルハウス!!



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 内田 靖盛

グリーンカーテン+
ミストシャワーで夏を快適に



応募者：(株)アキュラホーム 鳥谷 博史

光と風を上手に活用し、人工で
はなく、自然エネルギーで気持ち
よく洗濯する住まい



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 小西 崇晃

古民家で用いられた
知恵を現代へ
風と共存する住まい



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 石川 慶和

昔ながらの工夫と近代の工夫で、
エコな生活を実現



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 田口 雅規

庇のある家



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 大島 亜里紗

余った木材再利用



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 横尾 美祐

古民家で用いられた
知恵を現代へ
風と共存する住まい



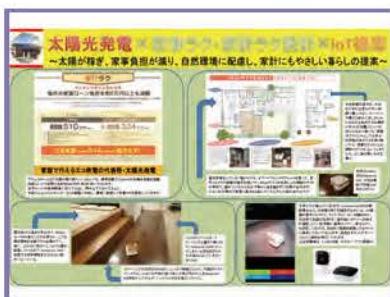
応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 石川 慶和

電気自動点灯による手間と
無駄のない暮らしの提案



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 立原 和樹

太陽光発電×家事ラク×家計ラク設計
※可搬機器×大障がれ移動×家事負担が軽減し自
然環境に配慮し設計にやさしい暮らしの提案



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 高山 洋幸

目に優しい街づくり



応募者：粕谷 明男

エネルギーを創り、
蓄え、上手に使う



応募者：アキュラホーム 渡辺 裕美

自然を大切にエコ暮らし



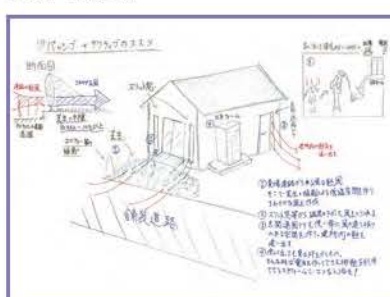
応募者：(株)アキュラホーム 高石 雄平

太陽と風が稼ぐ家
W発電



応募者：(株)アキュラホーム 齋谷 営業所

パッシブ+アクティブのススメ



応募者：尾形 眞志

日射コントロールと遮熱サッシの最適化

日射コントロールと遮熱サッシの最適化

通常のサッシに比べ約50%の日射熱をカットしてくれる遮熱サッシですが、全ての窓に入れておきますか？

そんなお悩みを解決する工夫の鍵を、最新の法と日射コントロールが握っています！

夏場の強い日差しは暑いため涼しくして遮熱サッシ、でも寒い、冬は暖かい日差しを遮らねば……

◆家計に対するエコ

夏をすべて遮熱サッシにするのは、上部の増大で部分的に遮熱サッシにするのが経済的効果が高いです。
—イニシャルコスト面でエコ！

そして暖かい、夏場は日差しを遮らねば、冬は日差しを遮らねば、エコ住宅の理想は実現し、どんな一石二鳥の環境にも優しく、家計にも優しい、そんな一石二鳥のエコ住宅は先人の知恵を活かした工夫で実現できる、実現しやすくなります。

本稿掲載ももちろん好評。おのれを表現する工夫の鍵を、最新の法と日射コントロールが握っています。環境にも優しく、家計にも優しい、そんな一石二鳥のエコ住宅は先人の知恵を活かした工夫で実現できる、実現しやすくなります。

応募者 (株)アキュラホーム埼玉西 葉和 由貴

スケルトン&インフィルのある家

『新築』一戸建てスケルトン&インフィル

スケルトン&インフィルとは、建築の骨格を骨格として、その骨格に様々な機能や用途を付与する建築手法です。従来の住宅では、骨格と機能は別々でしたが、スケルトン&インフィルでは、骨格と機能が一体となり、柔軟な空間を実現します。この建築手法は、建築の自由度を高め、居住者の生活スタイルに合わせて空間をカスタマイズすることができます。また、スケルトン&インフィルは、建築の骨格を骨格として、その骨格に様々な機能や用途を付与する建築手法です。従来の住宅では、骨格と機能は別々でしたが、スケルトン&インフィルでは、骨格と機能が一体となり、柔軟な空間を実現します。この建築手法は、建築の自由度を高め、居住者の生活スタイルに合わせて空間をカスタマイズすることができます。

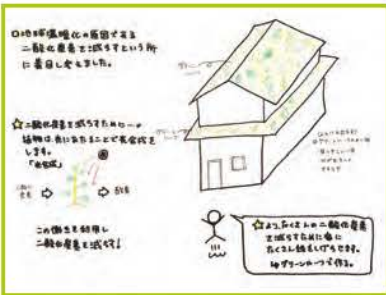
スケルトン&インフィルとは、建築の骨格を骨格として、その骨格に様々な機能や用途を付与する建築手法です。従来の住宅では、骨格と機能は別々でしたが、スケルトン&インフィルでは、骨格と機能が一体となり、柔軟な空間を実現します。この建築手法は、建築の自由度を高め、居住者の生活スタイルに合わせて空間をカスタマイズすることができます。

スケルトン&インフィルは、建築の骨格を骨格として、その骨格に様々な機能や用途を付与する建築手法です。従来の住宅では、骨格と機能は別々でしたが、スケルトン&インフィルでは、骨格と機能が一体となり、柔軟な空間を実現します。この建築手法は、建築の自由度を高め、居住者の生活スタイルに合わせて空間をカスタマイズすることができます。

応募者 (株)アキュラホーム埼玉西 北川 竜二



緑の家



応募者:埼玉県立川越工業高等学校 船木 麻梨亜

開放感のある家



応募者:埼玉県立川越工業高等学校 川田 真也

風の多い地域で有効的なアイデア



応募者:埼玉県立川越工業高等学校 神木 悠太

自由に変更し楽しみながら発電する環境に良い家づくり



応募者:埼玉県立川越工業高等学校 坂入 光輝

自然の恵みを受ける家



応募者:埼玉県立大宮工業高等学校 林 享志

雨水を利用する家



応募者:埼玉県立大宮工業高等学校 水元 響希

再生水を利用した快適な家



応募者:埼玉県立春日部工業高等学校 渡辺 健斗



第4回埼玉県環境住宅賞の概要

埼玉県環境住宅賞とは

地球温暖化防止など、環境への負荷が少ない住まいづくり・住まい方をすすめるため、工夫やアイデアに富んだ住宅・住まい手を募集し表彰するものです。

主催 埼玉県住まいづくり協議会 **後援** 埼玉県

対象

部門	建築部門	リフォーム部門	住まい手部門	アイデア部門	学生部門
対象となる住宅・取り組み	県内に建築された環境にやさしく、居住性に優れた住宅のうち平成18年1月1日～平成28年6月30日までの間に確認済証を受けた住宅	県内に建築された環境にやさしく、居住性に優れた住宅のうち平成28年8月31日までにリフォームした住宅	環境に配慮した住まい方の工夫や住宅を長く使用するためにしている取り組み	環境に配慮した次世代の住宅や住まい方のアイデア	学生による環境に配慮した次世代の住宅や住まい方のアイデア

審査委員 (敬称略、五十音順)

委員長 三井所 清典	公益社団法人日本建築士会連合会 会長
委員 秋元 智子	認定NPO法人環境ネットワーク埼玉 理事・事務局長
委員 片瀧 重幸	一般社団法人埼玉建築設計監理協会 相談役理事
委員 佐藤 啓智	一般社団法人埼玉県建築士事務所協会 副会長
委員 外岡 豊	埼玉大学 名誉教授



協賛企業

